問い合わせ先:北見農業試験場研究部 電話:0157-47-2146



マメ科牧草との相性抜群!栄養価も高いチモシー「北見36号」

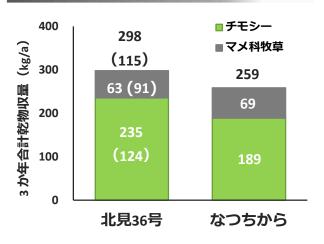
背景

既存品種「なつちから」は多収で倒れにくく、マメ科牧草との 混播に適していたが、栄養価が不十分であった。



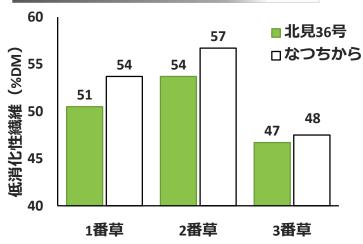
成 果

1 マメ科牧草との混播で多収



() 内は「なつちから」対比指数

2 家畜がたくさん食べる



低消化性繊維:値が小さいほど望ましい

品質の良い飼料ができる



可溶性炭水化物:多いほど良い飼料ができる

期待される効果

普及対象地域は北海道全域とし、「なつちから」と置き換える。普及見込み面積は60,000ha。

実施機関:北見農業試験場 共同研究機関:ホクレン農業協同組合連合会